

①「昔の親」と「今の親」は何が変わってきたの？

- 社会の仕組みが変わった
- 多様性
- 放任だった
- 一方的、答えがひとつだった
- 子どもは母、やばい時は父
- 子ども中心にしない
- 遊び場に行かないと子どもがいない
- みんなで暮らしていて、相談できた
- 物が多い
- 親と子が近い
- 正解がない
- 一緒にご飯食べない
- たくさん習い事をさせる（親のエゴという噂）
- 親も認めてほしい
- 問題を抱え込みやすい
- 情報をネットから得る

②「昔の親」と「今の親」で何が変わっていないの？

- 子を思う気持ち
- 自分の時間

③「今の親」は何を求めているの？

- 元気に育ってほしいという気持ち
- 子ファーストでなく、親ファースト
- 自分の時間
- 伸び伸びと育てたい
- 外遊びをしてほしい
- 安全に！
- 不審者・事故が心配不安もある
- 習い事（英語）

④子育て力ってなに？

- いかに子を想うか
- あれこれ指示せず見守れるか
- 難しい！求められるものが多い
- この「ワード」が怖い何かスキルがないと子育てできないの？ という不安がある
- = 経済力
- 自信をつけさせてあげて褒めること
- 自然と備わっていると思っているもの

⑤親と子の関わり方をどうするといい？

- ずっと仲良く
- 年代に応じた距離感
- 子育ては止められないから辛い方がいい
- 子のいいなりにならないという親のスタンス
- 世の中に応じて関わる力

⑥「今の親」に何を求めるの？（今の親にどうなってほしいの？）

- 忙しいけど、子と共に過ごす時間を作ってほしい（隙間時間の活用）
- 子どもに振り回されないことと子どもを大切に想う気持ちのバランスを保ってほしい
- 年代に応じた対応力
- 子を自立させる力

「子育て力」というキーワードは聞く側によって評価が変わってきたり、意味づけが変わってくる言葉であり、すごく危険性が高い。本質を見極めないと、支援の方法も分からなくなるので、本質が分からないキーワードを安易に使うべきでない。

①「昔の親」と「今の親」は何が変わってきたの？

病院や飲食店など静かにしなければいけない場所では絵本を読んだり、手遊びをしたり、静かにさせられた

周りの協力が得られ、まだ、心にゆとりがあった。（気持ちの余裕があった）

子を説得、納得させられない
仕事が忙しく、心にゆとりがない（気持ちの余裕がない）
スマホに頼っている
子を泣かせたくない我慢させない

他者との比較を恐れている？
もっと自己肯定感をUPが必要？
昔は散歩しても近所の声掛けあったが、今はない。できない。
サービスのお陰で子と向き合う時間増加
密度や濃さは疑問？
自分の親から引き継がれるものでは？
関わり方の上手さは引き継がれる？
経験していくもの ※最初からは身につけていない。一段、一段階段を上がるのと同じ
最初の子は神経質になりがち
親だけで行うものでない
でも、他者の関わり方が難しい

コミュニケーション力が低下？
親としての威厳がなくなった？
学校行事への参加は多い
子とふたりで煮詰まり子育て支援センターへ通う人の集う場所を求めている？

地域の連携が重要
脱コロナ

②「昔の親」と「今の親」で何が変わっていないの？

親であるという事実
健やかに育ててほしいという願い
表現が違うだけで、困り感は今も昔も同じでは？

気持ち（自分）に余裕があると

実は悩んでいる？抱え込んでいる？足を運べない人もいるのでは？

⑤親と子の関わり方をどうするといい？

子の目線に立てる頭ごなしでなく、理由を聞く
これくらいは分かるやろう！という決めつけは駄目×丁寧に！
時間の長さでなく、密度をUP
メリハリが必要では？

心に余裕があればできる

③「今の親」は何を求めているの？

いじめもなく、安心して健全な子の成長
専門家から「それでいいよ」と認めてもらいたいのでは？

親として満たされること

子が褒められると親もうれしい
子育てするもの同士、共感したい

親も自分の時間

満たされると親も自己肯定感がUPする

ネットの世界ではできない。だからみんなが集まる

⑥「今の親」に何を求めるの？（今の親にどうなってほしいの？）

自信を持って子育てしてもらいたい
孤立しないしてほしい、させてはいけない
子と認められる親になってもらいたい